

敦賀市議会

議会だより

9月
定例会

CONTENTS

- 決議、意見書の提出・・・2
- 常任委員会審査報告・・・3～5
- 特別委員会中間報告・・・6～7
- 行政視察報告・・・8
- 一般質問・・・9～14
- 審議結果一覧・・・15
- 議会日誌、12月定例会の日程・・・16

機関車公園に集結



本町通り国道8号2車線化に伴い、本町第3公園（機関車公園・子育て総合支援センター横）にモニュメントを移設しています。

決 議

9月定例会で、議員より決議案の提出があり、全会一致で可決されました。件名及び内容は下記のとおりです。

◎敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査に関する決議

(調査事項)

- 1 本議会は、地方自治法第100条の規定により、次の事項について調査するものとする。
 - (1) 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理者基本協定書に基づいた敦賀市の履行状況に関する事項
 - (2) 産経建設常任委員会所管事務調査等の結果から、不適切に執行されていると疑われる敦賀市の事務に関する事項
- (特別委員会の設置)
- 2 本調査は、地方自治法第109条及び委員会条例第4条の規定により委員10名をもって構成する敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会を設置して、これを付託するものとする。

(調査権限)
- 3 本議会は、1に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第100条第1項及び同法第98条第1項の権限を上記特別委員会に委任する。

(調査期限)
- 4 上記特別委員会は、1に掲げる調査が終了するまで閉会中もなお調査を行うことができる。

(調査経費)
- 5 本調査に要する経費は、本年度においては、200,000円以内とする。

意見書の提出

9月定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が可決され、関係行政庁に提出いたしました。意見書の件名及び要望事項は下記のとおりです。
なお、意見書全文については敦賀市議会ホームページで公開しています。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。とりわけ、保育の無償化に伴う地方負担分の財源確保を確実に確保すること。
- 3 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを反映しておらず、見直しを行うこと。
- 4 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保をはかること。
- 5 2020年度から始まる会計年度任用職員の処遇改善のための財源確保をはかること。
- 6 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を進め、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直しを進めること。
- 7 地域間の財源偏在性の是正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
- 8 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。
- 9 2019年度の地方財政計画でも4兆円規模の財源不足があることから、地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。
- 10 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

● 予算決算
常任委員会 ●

「第79号議案」
令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）

質疑

◎図書館有効活用推進事業費について

問 図書館第2読書室を飲食可能な部屋にすることとした経緯と、駅西地区土地活用事業においてブックカフェを計画しているにもかかわらず、なぜ図書館にも飲食スペースが必要となったのかを伺う。

答 『図書館機能の充実による知育機能の強化』について検討した、平成30年度庁内政策プロジェクトチームの提案を受け、検討し予算計上したものである。また、プロジェクトチームによる高校生との意見交換で、図書館内での飲食スペースを求める声があったことを受け、特に学生への配慮、長時間滞在者への利便性向上の観点から提案を採用した。



◎指定管理者候補者選定委員会運営費について

指定管理者候補者選定委員会運営費25万7千円を削除し、再提出を求める第79号議案令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）の組み替えを求める動議が提出された。

提出理由は、「指定管理者候補者選定委員会運営費は、『人道の港敦賀ムゼウム』の指定管理者候補者の選定に向けた予算であるが、指定管理者制度導入にあたり、敦賀市が将来にわたって目指していく施設の姿や具体的な運営方針を明らかにしなければ、民間のノウハウを期待し、指定管理者に運営を求めたとしても、施設の設置目的を果たすことができないと考え、このことについて、今定例会を通じて詳細な説明を求めたが、明確な回答を得ることができなかったことから、より具体的に明確な運営方針等を示してもらい、さらに詳細に審査する必要がある。」というものである。

討論

「原案に賛成、組み替え案に反対」の討論

新ムゼウム利活用等検討委員会の5回に渡る活発な議論により、指定管理者方式が望ましいとの慎重な審議結果に基づいた予算であると共に、今定例

会中での関連条例や予算説明において、問題のある議論はなかった。

「原案に反対及び組み替え案に反対」の討論

原案中の、図書館有効活用推進事業費や、個人番号カード活用環境整備事業費等に対する事業には賛成できない。修正案についても直営方式で行うほうがよいとの考えから賛成できない。

採決

賛成多数

組み替え案のとおり認めるべきものと決定

可決後、委員会を休憩し、市長に対し、組み替え案可決の報告と、この可決に対する市長の判断を求めた。

市長の回答は、組み替え案の可決結果は重く受け止めるものの、新ムゼウムの運営方法については、長い間議論されてきており、議会に対しても、スキーム説明は十分に尽くしたとの考えなどから、組み替え案には応じられない、とのことだった。

このまま審議を続けると第79号議案は否決となりがねないことから、組み替え案と同じ箇所の削除及び理由で、委員より、第79号議案令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議が提出された。

討論

「原案に反対及び修正案に反対」の討論

その他の原案部分にも反対であるため、当修正案には賛成できない。

「修正案に賛成」の討論

指定管理者制度導入の可否を判断する上で材料が不足している点として、

- 1 新ムゼウム設置の目的達成に向けては、敦賀市が主体的役割と責任を担い、指定管理者とは理念を共有した上で、指揮、運営管理していくことが必要不可欠であるが、運営方針や方法、管理体制に対して具体的な考えが示されていない。
- 2 新ムゼウム利活用検討委員会中間報告に挙げられた運営方針や来館者増加策を踏まえた、市としての総合的なビジョンや、懸念事項に対する対応策が示されていない。

以上についての説明と、さらに詳細な審査を求め、真に納得してから計画を前進させねばならない。

採決

賛成多数

修正案とおり認めるべきものと決定

本会議 [議案の委員会付託]
議案を詳しく検討するため、議長が各委員会へ審査を付託

委員会審査

付託議案の説明 → [質疑]
→ 議員同士の自由討議 → [討論]
→ 賛成か反対かを表明 → [採決]

本会議 [委員長報告]
審査を行った各委員会の委員長が、審査の経過と結果を報告
→ [質疑] → [討論] → [採決]

「第98号議案」
令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）

質疑

◎庁舎整備事業費について

問 庁舎整備に係る総額について、当初からの変更金額の経緯を伺う。

答 基本計画の段階で約64億円、基本設計の段階で約66億円、実施設計の段階で約70億円、そして今回の変更で約75億円となっている。

討論

反対 当初47億であった経費が、液状化対策や立体駐車場などが追加され、今回の説明では総額75億円となり、今後も値上げされることが懸念される。緊急防災・減災事業債が活用できる、耐震補強工事に計画変更をするべき。

採決

原案どおり認めるべきものと決定

決算認定

第91号議案 平成30年度敦賀市歳入歳出決算認定の件ほか3件の決算案件について、9月30日に審査を行い、いずれも認定すべきものと決定した。

総務民生 常任委員会

「第81号議案」

敦賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件

質疑

問 現在の非常勤職員が会計年度任用職員として採用された場合、給与額が下がる職員はいないのか。

答 給与額が下がる職員が出ないよう、調整する予定である。

採決

原案どおり認めるべきものと決定

「第82号議案」

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件

質疑

問 会計年度任用職員の任用期間が1年と定められている中で、育児休業を取得した場合、雇用期間のほとんどが育児休業期間になるといえることが起こり得るのか。

答 まず前提条件として、週3日以上勤務し、1年以上任用されているものが育児休業を取得することができる。

育児休業期間中に雇用期間を終えることも考えられるが、その場合は休業期間中に再任用等の手続きを行うことになる。

採決

原案どおり認めるべきものと決定

「第84号議案」

敦賀市印鑑条例の一部改正の件

質疑

問 証明書等の性別表記を削除すること、具体的には何の書類なのか。

答 「印鑑登録証明書」と「印鑑登録の原票」から、性別表記を削除すること、ということである。その他、市民課で取り扱う住民票や戸籍などは、これまでどおり法令に基づき性別表記される。

問 旧氏を併記する場合、どのような手続きとなるのか。発行の都度、併記するか、しないかを選択することができるのか。

答 旧氏の併記を希望される方には、別途申請をもらい、その後は「住民票」、「マイナンバーカード」、「印鑑証明書」の全てに旧氏が併記されることになる。

採決

原案どおり認めるべきものと決定



「陳情第1号」

地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情

意見

財源の心配はあるが、地方自治体にとって大事な内容であるため、採択すべきではないか。

討論

賛成 これまでも同様の陳情は出てきているが、今回は、保育の無償化に伴う地方負担分の財源確保の件も含まれているため、採択すべきである。

採決

採択すべきものと決定

● 産経建設
常任委員会 ●

〔第83号議案〕

人道の港敦賀ムゼウムの設置及び管理に関する条例制定の件

質疑

問 設置及び管理に関する条例について、直営方式でも指定管理方式でも、どちらの管理方法もあり得る条例は、敦賀市ではかに例があるのか。

答 人道の港敦賀ムゼウムの設置及び管理に関する条例については、市民文化センターの設置及び管理に関する条例を参考にしており、市民文化センターは直営方式でも指定管理方式でも、どちらの管理方法もあり得る条例となっている。

問 直営方式も指定管理方式も可能とのことだが、例えば、当初は指定管理方式をとっていたが、成果が上がらないため、途中から市の直営方式に変更するといったことも可能なのか。

答 条文としては、そのようなパターンにも対応可能である。しかし、管理運営方式を途中で変更するような意図

を持って条例を制定しているわけではない。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第5号〕

日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める請願

討論

反対 貿易交渉の中止は国益にかかわることでもあり、日本の農業が危なくなった際には国策としてセーフガードという最終手段も用意されているため、請願まで採択するべきではないと考え、反対である。

反対 交渉経過を明らかにすることは、国際交渉の場で必ずしも有利には働かないと考えられるため、請願を採択するべきではないと考え、反対である。

採決

賛成少数

不採択とすべきものと決定

● 文教厚生
常任委員会 ●

〔第86号議案〕

敦賀市国民健康保険診療所設置条例の一部改正の件

質疑

問 具体的にどのような使用料等に消費税がかかるのか。

答 予防接種手数料、装用器具料、薬剤用器料、死体検案料、死体処置料及び文書料の6項目について消費税を課税する。

討論

反対 消費税増税で、市民の負担がふえるので反対である。

賛成 現在、一物二価となっている状況が、今回の改正により全て外税方式で料金統一にすることは合理性があると思うので賛成である。

採決

賛成多数

原案通り認めるべきものと決定

〔第97号議案〕

総合運動公園陸上競技場改修工事その2請負契約の件

質疑

問 人工芝を張る範囲は。

答 現在天然芝で敷設してあるトラック内のインフィールド部分の7590平方メートルを人工芝に張り替える予定である。

問 この人工芝の耐用年数は。

答 神奈川県で敷設されている事例では、10年間毎日使用しても補修を行っていない実績があるので、少なくとも10年は補修をしなくてもよいと考えている。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

原子力発電所 特別委員会

日本原子力研究開発機構関係

質疑

問 9月17日から実施された燃料体取り出し作業について、スケジュールが早まるのであれば、早まったことを市民に報告する義務があると思う。以前、文部科学省には市民に安心感を与えられるような情報発信に努めるよう求めていたが、市はしっかりと指導したのか。

答 今回については燃料の取り出しのための準備作業が順調に進んでいることを含め事前の説明が不足していたという感は否めないと思う。情報発信のタイミングは難しいと思うが、工程を見きわめながら、早め早めに情報を発信するよう、機構に伝えたいと考えている。

問 6月12日に発生した、炉外燃料貯蔵槽のナトリウム漏えい監視機能喪失の件について、原因及び対策を伺う。

答 バックアップ電源から通常電源に切り換えるスイッチの動作時間が長く

新幹線対策 特別委員会

駅西地区土地活用に係る公園整備について

質疑

問 プロジェクトチームには今後、知育・啓発施設の指定管理者である丸善雄松堂が加わるとのことであるが、賛同する地元の駅前商店街の方などもいっしょに進めていくということか。

答 先進事例にもあるように、商店街などいろんな関係者が積極的に駅前Aゾーンで活動してもらえるようになるのが一番よい。

駅前立体駐車場の利用状況について

質疑

問 100から120台を駐車できる駅東側の駐車場について、規模の拡大や立駐にするか等の考えがあれば伺いたい。

答 新幹線開業後の敦賀駅における駐車場需要予測は、440台で、完成し

た駅前立体駐車場の駐車台数320台を引くと120台分必要となる。かなり厳しい工程の中、駅東の駅前広場を新幹線開業に間に合わせるには、まずは平面で120台程度確保し、推移を見ながら次のステップを検討したい。

請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみならずが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会で内容を確認し、全会一致で認められたものは、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります。それ以外は全議員に写しを配付します。

※郵送による陳情は認めておりません。

※請願、陳情の処理結果については、後日文書にて提出者に通知します。

原子力防災関係

質疑

問 8月末に美浜原子力発電所3号機の事故を想定した避難訓練が行われたが、これに伴い今後、市の避難計画を見直すのであれば、どのようなスケジュールになるのか。

答 現在は具体的なスケジュールはないが、今後見直されるであろう県の避難計画との整合性を図り、必要に応じて本市の避難対応マニュアル等の見直しを行うなど、より実効性の高い原子力防災体制の構築に努めていきたいと考えている。

なり、切り換え時にスイッチの回路に流れる電流の通電時間も長くなったことから、ヒューズが切れたことが原因である。対策として、回路に対する影響評価を行ったうえで、ヒューズを定格の10アンペアのものから15アンペアに交換した。また、切り換えスイッチについても設置から30年が経過しているため今後、計画的に更新するための準備を進めていると聞いている。

た駅前立体駐車場の駐車台数320台を引くと120台分必要となる。かなり厳しい工程の中、駅東の駅前広場を新幹線開業に間に合わせるには、まずは平面で120台程度確保し、推移を見ながら次のステップを検討したい。

市庁舎建設対策 特別委員会

市庁舎整備について

質疑

問 入札の不調により、工期に3カ月の遅れが出ることだが、消防庁舎に関する補助金の交付は受けられるのか。

答 消防庁舎の緊急防災・減災事業債は令和2年度中に限定されており、3回目の入札が順調に行われ、12月議会中に議決を得ることができれば、1月から本格着工し、15カ月間の期間の中で完成を目指すことで財源に充てることができる。



問 値差を埋めようとするところまで委員会で説明された内容から、削ったランクを下げたりと相当スペックダウンしないといけないのではないかと。さまざまな関係者とのヒアリングによりスペックを決めていった経緯があるが、大きな影響を与えることはないか。

答 さまざまな方面からいただいた、例えば外観で松原ルーバーというようなイメージや、多目的スペースに木質の材料を使って少し温かい雰囲気によいという提案については、手をつけるつもりはなく、影響のない範囲で削減できるところを精査しているところである。



気比の松原をイメージしたルーバーを特徴とした新市庁舎の外観（北面）

問 不調の要因は技術者の不足だということも聞く。市場の技術者不足というところについては、どう調査されているのか。

答 大手についてもいろんな地域で仕事量が多く、利益やその時点の技術者の配置具合によって、入札に参加するかどうかを決めていく。2回目の入札を1回目から余り時間をあけずに公告したという関係もあり、大手が配置技術を分配する時間がなかったということもあったようである。3回目は時間があがり、大手の中で技術者の配置を考えていただければ対応してもらえると考えている。

敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会

9月定例会において、「敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査に関する決議の件」を可決したことにより、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会を9月19日に新たに設置した。（決議の内容は議会だより2ページに掲載）

委員長 福谷 正人
副委員長 石川 栄一
委員 山本 武志
大塚 佳弘
浅野 好一
中野 史生
山本 貴美子
田中 和義
前川 和治
立石 武志

協議経過について

市に要求する資料として、「決算の概要」、「事業報告書」、「年度協定書」、「変更年度協定書」、「基本協定書及び業務仕様書」、「前指定管理者から現指定管理者への引継書」。

指定管理者に要求する資料として、「市との打ち合わせ等の会話を記録した録音データ」。

市及び指定管理者に要求する資料として、「現在の状況に至るまでの経緯をまとめた時系列表」。

以上、8つの資料について提出を求め、今後調査を進めていくことに決定した。

なお、多数の傍聴者に対応するため、一般傍聴者の人数制限を10人から30人へ変更し、今後の会議を全員協議会室で行えるよう、申し合わせの変更等を、議会運営委員会に依頼した。

10月3日に委員会を開催し、調査事項として掲げている、「基本協定書に基づく市の履行状況等の調査」を進めていく上で、今後必要となる資料について協議し、資料提出を要求すべきものを決定した。

10月28日に委員会を開催して、上記の8つの資料について提出を確認した。

行政視察報告

議会運営委員会（8月21日～23日）

議会運営委員会では、「議会改革の取り組み」についてをテーマに、8月21日～23日にかけて新潟県柏崎市議会、群馬県桐生市議会、静岡県磐田市議会に伺い、先進地視察を行いました。

柏崎市では決算審査において主要施策のうちいくつかを4段階評価し、翌年度以降の施策・政策実現に向け提言を行っています。このような事業評価は非常に重要であり、その手法を参考にしつつ、敦賀市においても実現すべく協議を進めたいと思います。



桐生市では議会の民意吸収機能を最大限発揮するため、議会報告会・意見交換会、まちづくり討論会、議会モニター、職場体験受け入れ等、積極的に取り組まれていました。得られた意見をどのように市政に反映していくか、といった課題はあるものの、特に若年層にターゲットを置いた取り組みは非常に参考になりました。

磐田市では議会広報のリニューアルに取り組まれており、広報広聴委員会を常任委員会化し、議会だよりの編集発行、議会報告会の実施だけでなく、Facebook、いわたホットライン、ご意見ポスト、キッズページなど積極的な広報活動を展開されています。「わかりやすく開かれた議会」を目指す敦賀市議会でもさらに積極的に広報活動に努めて参ります。

産経建設常任委員会（10月16日～18日）

産経建設常任委員会では、敦賀市のまちづくりの参考にするため、10月16日から18日にかけて香川県高松市、山口県下関市、宮崎県延岡市に、行政視察に行きました。

高松市の『景観刷新モデル事業』は、山上の施設、水族館、ケーブルカー等の老朽化や廃墟化したハード面を整備し再び活性化を計画しています。当該支援事業のほかインフラ整備の4割に適用となる社会資本整備総合交付金などの補助も受けながら進めています。市が強いリーダーシップを取り、官民が連携し、認識を共有している様子が説明から感じました。本市においても、進めるにあたり市のリーダーシップで官・民連携の意識が高まるよう、議会からも提言していきたいと思います。

下関市の『ウォーターフロント開発』は、敦賀市の金ヶ崎周辺整備構想よりも規模が大きく、開発計画期間も今後10～20年の長期的なものでした。リゾートホテルの誘致開発による経済効果も年間17億円を目論んでいました。中心部の指定管理者方式で運営されている「水族館」は子どもだけでなく大人も楽しめ、「癒しとにぎわい空間」というコンセプトを大切にして、観光客を誘客する計画は敦賀市の参考にできる所は大きいと考えます。

延岡市における『駅前複合施設エンクロスの運営』は、販売用の書籍2万冊と市の蔵書2万冊の計4万冊の本を読みながら飲食でき、市民活動ができるスペースを民間が運営しています。子どもと女性を意識した機能が充実していて通常、座席として使用しているところは、申し込みにより市民活動スペースになります。鉄道の利用者ではない人にも来てもらえるようにまた、来館した方に市街地に誘導するという考え方は、敦賀市と同様です。現在、敦賀市の市民活動の場は限られています。延岡市のような使い方は非常に合理的で、来館数は、130万人で人口の10倍です。敦賀市においても、対人口比率プラスアルファの来館者数を目指すべきだと考えます。



駅前複合施設エンクロスを視察

一般質問 項目一覧

- ◎林 正 男 議員
 - 1 敦賀の温泉とリラ・ポート問題について
 - 2 市営野球場のその後について
- ◎浅 野 好 一 議員
 - 1 敦賀市総合運動公園について
 - (1) 国体改修後の施設
 - (2) 今後の利用率向上
 - (3) 公園内施設管理
 - 2 敦賀市公共施設等総合管理計画について
 - (1) 計画後の公共施設、将来更新費抑制の状況
 - (2) 各種調査の結果と一元管理
 - (3) 市有財産利活用研究会の状況、成果
 - (4) 今後の計画（市民説明会）
- ◎今大地 晴 美 議員
 - 1 敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて
 - 2 マイノリティーな立場におかれた人たちのための施策について
- ◎今 川 博 議員
 - 1 敦賀市の公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置事業について
- ◎林 恵 子 議員
 - 1 子どもの安心・安全について
 - 2 幼児教育・保育・子育て支援について
 - 3 障がい者・障がい児の支援について
- ◎福 谷 正 人 議員
 - 1 新ムゼウムについて
 - 2 新幹線開業に向けた施策について
- ◎豊 田 耕 一 議員
 - 1 持続可能な公共交通について
- ◎山 本 貴美子 議員
 - 1 敦賀市総合計画とSDGs（持続可能な開発目標）について
 - 2 滞納者への行政サービスの制限（第6次行政改革）について
 - 3 原発事故の避難訓練について
- ◎前 川 和 治 議員
 - 1 サイクリングロードとレンタサイクルについて
 - 2 嶺南を一体とした広域計画の策定について
 - 3 敦賀市の財政について
 - 4 金ヶ崎緑地周辺について
 - (1) 人道の港敦賀ムゼウム
 - (2) 金ヶ崎緑地全体
- ◎北 村 伸 治 議員
 - 1 有害鳥獣による被害状況と対策について
 - 2 井の口川の整備進捗状況と事業計画について
- ◎川 端 耕 一 議員
 - 1 人道の港敦賀ムゼウムの市民への浸透について
 - (1) 現状の情報発信と市民への浸透度
 - (2) 小中学校の課外学習による市民との交流
 - (3) 出前講座等の活用
- ◎大 塚 佳 弘 議員
 - 1 障がい者コミュニケーション支援について
 - (1) 手話言語法（仮称）制定取り組みの経緯と現状
 - (2) 多様なコミュニケーション手段の促進
 - (3) 手話言語条例の意義と制定の取り組み
 - 2 敦賀市指定管理者制度について
 - (1) 指定管理者制度の現状と課題
 - (2) 指定管理者制度の評価に対する方法の確認
 - (3) エリアマネージメント方策と指定管理者制度のあり方
- ◎立 石 武 志 議員
 - 1 市立敦賀病院駐車場の混雑対策について
 - 2 リラ・ポート問題と指定管理者制度について
- ◎三 國 真 弓 議員
 - 1 幼稚園・学校の保護者の費用負担軽減について
 - (1) 幼稚園や学校の制服リユースについて
 - (2) 小学校の算数セットの共用と、引き出しのリユースについて
 - 2 学校制服の男女共用化について
- ◎山 本 武 志 議員
 - 1 原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点に向けたビジョンについて
 - (1) 嶺南エネルギー・コースト構想に対する受け止め
 - (2) 敦賀エリアの原子力・エネルギー中核的研究開発拠点化
 - (3) 国・福井県が進める施策との連携と敦賀市のビジョン
 - 2 「人道の港敦賀ムゼウム」整備計画について
 - (1) 新ムゼウムのコンセプトとシビックプライド醸成
 - (2) 開設準備状況と国内外へのPR戦略
 - (3) 運営管理体制
 - 3 敦賀市営野球場について
- ◎中 道 恭 子 議員
 - 1 障がい者就労について
 - 2 引きこもり支援対策について
 - 3 「おくやみ窓口」の設置について
- ◎松 宮 学 議員
 - 1 高齢者運転免許証自主返納者への優遇制度について
 - 2 自動車の急発進抑制装置取り付け費用の支援制度について
 - 3 保育所等で保育所外での活動する際の移動経路の安全と職員の体制について
- ◎縄 手 博 和 議員
 - 1 小中学校のトイレ洋式化について
 - 2 民生委員児童委員の活動について

敦賀市議会HPから
動画も視聴できます。



一般質問



林 正男
(同志会)

敦賀の温泉とリラ・ポート問題について

問

前指定管理者が販売した入浴回数券のうち未利用分約1100万円ほどを、指定取り消し後は市に納付することが基本協定書で定められている。指定取り消しから2年半経過しているが、市が請求したのは数日前である。そのような中で今後、現在の指定管理者とどのように折り合いをつけていくのか。

答

指定管理者がリラ・ポートの本来の目的に沿った事業を展開する中で、できるだけ収支を改善していただき、市民や議会の理解が得られるならば、市として支援も検討していきたい。

市営野球場のその後について

問

今まで何度も質問をしてきたが、いつになったら市営野球場を打撃や試合形式で使えるのか。

答

休止するまでの経緯を考慮して、当面経過を観察して、段階的に安全性を確認していきたい。

一般質問



浅野好一
(市政会)

敦賀市総合運動公園について

問

陸上競技場裏の木崎山に面するオーナー制桜の木周辺で、雑草の繁茂がひどい。管理はどうかしているのか。

答

当初さくらの里実行委員会と桜の木のおーナーで共同管理を行っていたが、平成27年に組織が改組され、散策道は運動公園が管理し、桜の管理と散策道から自身の桜の木までの除草等は所有者各自で行ってもらうこととなった。

敦賀市公共施設等総合管理計画について

問

敦賀市の住民一人当たりの公共施設面積は、全国市平均の1.7倍である。公共施設の総量縮減等を計画する「公共施設等総合管理計画」の市民説明会のスケジュールを伺う。

答

全施設において個別施設計画を策定し、面積の縮減の数値目標や達成年度等を定めたアクションプランの策定が進む来年度以降に、市民説明会等の開催を考えている。

一般質問



今大地晴美
(無所属)

敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて

問

平成28年11月にリラ・ポートの前指定管理者に対し監査委員が監査を行っているが、実施内容等について説明を求める。

答

全項目、全事柄をくまなく精査する監査は行っていない。抜き取り、抽出による試査により、指摘事項を指摘し改善を求めるという指摘型の監査を行っている。

問

前指定管理者が法に基づき行った審査請求書と処分庁の裁決書が、情報公開請求で公開された文書にはなかった。その理由と、百条調査委員会が資料請求した場合は公開されるのかを聞く。

答

情報公開条例により、非開示情報として規定されているため存否そのものを答えることができない。百条調査委員会から提示を求められたときは、公開する・しないは市長の判断となるが、法律の専門家等にも相談しながら、対応を決定していきたい。

一般質問



今川 博
(市民クラブ)

敦賀市の公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置事業について

問

敦賀市の公共下水道事業の第6期の認可整備計画の面積、進捗率、整備完了時期、さらに第7期以後の整備計画、整備完了予定時期を伺う。

答

第6期の事業については、約150ヘクタールのうち平成30年度末時点で37ヘクタールが整備済で、第6期認可面積に対して24・7%となり、今後4年から5年での整備完了をめざしている。第7期の整備計画は令和2年度より区域拡張の事業を開始し、おおむね5年から7年で整備可能な区域を考えている。

問

山泉地区の一部、木の芽川の南側地域の認可整備がおくれているが新幹線工事との関連性について伺う。

答

木の芽川の南側地区の整備はJRB北陸線、新幹線工事という大きな課題がある。今後は新幹線駅舎東側の道路網整備の進捗を見きわめながら順次計画していきたいと考えている。

一般質問



林 恵子
(市政会)

子どもの安心・安全について

問 幼稚園、保育園の散歩コースや、学校の登下校の安全点検については、どのように行っているか。ハード面での整備はされているか。

答 緊急安全点検を4施設で行った。危険箇所との報告があった箇所については、早急に対応する。通学路については、通学路交通安全プログラムに基づいて、今年4月に各学校で点検を行っている。ハード面については、関係機関と協議をしているところである。

幼児教育・保育・子育て支援について

問 女性の就労がふえ、0、1、2歳児においては、現在の保育園でキャパシティがないという状態の中、今後保育園と幼稚園の統廃合をし、認定子ども園を設立する考えはないか。

答 大幅な改修や建てかえ、統廃合も含め、敦賀市公共施設等総合管理計画に基づき検討していきたい。

一般質問



福谷正人
(市政会)

新幹線開業に向けた施策について

問 今年の夏に福井市の緑地で開催された野外フェスが非常に盛り上がった。敦賀にも金ヶ崎緑地があるので、例えば春は金ヶ崎の桜で桜フェス、夏は文字どおり夏フェス、秋は肉フェスなどの季節ごとの定期的なイベントを企画、実施してはどうか。冬はミライエがあるので季節ごとのイベントで、何度も四季を通じて通いたくなる敦賀を演出できるのではないか。

答 どういう分散をするか、規模をどうするのか。市は黒子なので、いかに前で頑張る人が出てくるのかという点を含めて検討していきたい。

問 新幹線開業に向けた盛り上がりのために、市民から色々なテーマで企画を募集し、公開プレゼンテーションを開き審査する。採用されたプランに補助金を出す。このようにプレゼン自体もイベントになる市民を巻き込んだ施策はどうか。

答 どういう方法がよいのかも含めて検討させていただきたい。

一般質問



豊田耕一
(同志会)

持続可能な公共交通について

問 本格運行後10カ月が経過しているが、コミュニティバス・デマンドバスの検証と、地元等から受けている要望について、どのように考えているのか。

答 乗客数は伸びていると認識しているが、さまざまな要望をいただいているが、できることから進めていきたい。

問 敦賀病院等へ通院している高齢の方へタクシー料金の補助はできないのか。また、バスの利用者が少ない便を見直して、タクシー料金の3割くらいの補助額を補うことができるのか。

答 定時バス、デマンドバスとも利用者数の少ない便はあるが、そのような便をタクシーで賄うことは非常にコストがかかる。現在のデマンドバスの運行体系である定時定路線型は、経費的なメリットがある運行形態で、200円の運賃を保ち、小型車両によって集落内まで乗り入れをすることが可能で、引き続き現在運行している定時バス、デマンドバスの利用促進に努めたい。

一般質問



山本貴美子
(日本共産党敦賀市会議員団)

敦賀市総合計画とSDGs(持続可能な開発目標)について

問 貧困をなくす、平和と豊かさを享受できるようにするなどSDGsの目標実現のため、敦賀市も第7次総合計画をSDGsの達成に向けた計画とすべき。敦賀市の見解を伺う。

答 第7次総合計画において、SDGsの開発目標に沿う形で戦略を設定するなど反映に取り組みたい。

滞納者への行政サービスの制限(第6次行政改革)について

問 第6次行政改革に「滞納者への行政サービスの制限」がある。これまで市税等を滞納すると市営住宅の入居申し込みができないなど制限があったが、これ以上制限する行政サービスをふやすべきでない。滞納者については分納納付で利用を可能にすべきと考えるが敦賀市の見解を伺う。

答 分納誓約の提出によるサービス提供については、研究していきたい。

一般質問



前川和治

(愛教会)

サイクリングロードとレンタサイクルについて

問

自転車を通う学生から、自転車に優しい道にしてほしいという要望と、多くの声をいただいている。実際に自転車走ると、段差が多いため、段差の解消をして自転車に優しい道にしていくにはどうか。

答

歩道整備については、段差の解消及び歩道の拡幅等の整備を進めており、整備完了後には、自転車も通行しやすい歩道になると考えている。引き続き整備を進める。

敦賀市の財政について

問

敦賀市として、財政調整基金や災害対応基金はどれだけの金額を確保し、災害に備えていくのか質問する。

答

約32億円が適正規模と推測する。適正規模額は維持しており、災害にも一定の備えができています。

一般質問



北村伸治

(市政会)

有害鳥獣による被害状況と対策について

問

近年、農業者だけでなく酪農者や一般人も有害鳥獣の被害にあっている。イノシシや鹿、猿による農作物などの被害状況について伺いたい。

答

現在、愛発地区、西浦地区、東郷地区、東浦地区でイノシシによる被害、そして栗野地区、中郷地区で猿による被害が発生している。

問

猿の被害が栗野地区、中郷地区に発生している。敦賀には、猿を捕獲する機械または檻があるのか。

答

敦賀市鳥獣対策協議会が所有している猿の捕獲檻は8基ある。平成30年度の猿の捕獲数は125頭だった。

一般質問



川端耕一

(愛教会)

人道の港敦賀ムゼウムの市民への浸透について

問

人道の港敦賀ムゼウムの市民への浸透度は十分でないと考えますが、市民への周知活動についての見解は。

答

ムゼウムに関する情報発信については、主にフェイスブックやホームページ等を活用し、市民や国内外に向けPRを行っている。また、関係者の訪問時には積極的にメディアに情報を公開する事に力を注ぎ、新聞やテレビ等でもニュースとして取り扱っていただくよう努めている。

問

市内小中学生と地域の方が一緒に進める市民への人道の港敦賀ムゼウムの浸透について、市の見解は。

答

従前から敦賀市「知・徳・体」充実プランにおいて徳育、内面を豊かにする力を育むために、ふるさと敦賀の先人から生き方を学ぶ学習を実施している。今後も、人道の港発信室と連携し、人道の港敦賀ムゼウムを活用しながらふるさと教育を充実させていきたい。

一般質問



大塚佳弘

(公明党)

敦賀市指定管理者制度について

問

指定管理は各所管で対応しているため、統一した指定管理者制度の運用指針、ガイドライン等の作成が必要と考えるがいかがか。

答

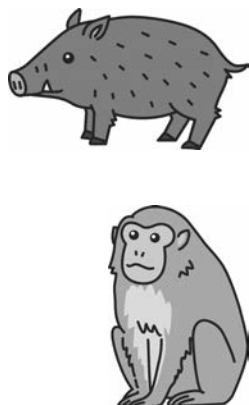
敦賀市ではガイドラインはないが、要綱を定めている。この要綱では事務処理について定めているが考え方や方針について示していないので、今後必要に応じて内容を精査し検討していきたい。

問

昨今の施設のさまざまな課題状況を見ると、今後の評価の強化が必要である。他市町では第三者による評価モニタリングの導入等がある。評価モニタリングの導入についてお聞きする。

答

福井市をはじめ鯖江市、越前市、坂井市で指定管理者制度導入施設の第三者評価を実施し、第三者評価の結果をホームページ等で公開している。これらの取り組みを参考にしながら、導入について研究、検討していく。



一般質問



立石武志 (同志会)

市立敦賀病院駐車場の混雑対策について

問

来院目的外の駐車があり、早朝から満車となって入場できない。来院者は現在の料金体系にして、駐車料金を時間制で値上げしてはどうか。

答

現在は24時間駐車して300円の設定である。提案のように、来院者は今までの料金をとし、目的外の方はそれなりの料金を支払う料金体系を検討し、目的外駐車抑制に努めていきたい。

リラ・ポート問題と指定管理者制度について

問

ほとんどの指定管理者の事業収支決算は管理料の節減にはほど遠い現実で、指定管理に移行したメリットがどこにあるのか。住民サービスとせず行政のコストを下げるという指定管理制度のあり方を考える必要があるが。

答

第三者の目から評価検証を行う制度の創設に向け研究、検討を進めたい。

一般質問



三國真弓 (愛敦会)

幼稚園・学校の保護者の費用負担軽減について

問

制服リユース事業は、市という大きな単位でまとめることが最も効率的であり、市民の利便性も上がる。子育て世帯の費用負担を軽減するため制服リユース事業を行い支援する考えはあるか。

答

市内の小学校13校中12校、中学校は5校、全てリユースをしている。年間を通して提供しているので今までもおりPTA活動等で、保護者同士のつながりをつくることのほうが重要だと考える。

学校制服の男女共用化について

問

本人が声を上げることが難しい性的マイノリティの児童生徒のために、教育委員会が積極的に制服についても介入すべきと考える。見解を伺う。

答

制服は、教育委員会がリードするものではない。各学校としては保護者や本人からの申し出を待ち、慎重な情報共有を行い、さらにきめ細かな対応をするべきものと考ええる。

一般質問



山本武志 (市民クラブ)

原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点に向けたビジョンについて

問

世界中から研究者や次代を担う学生が集う拠点、国を代表する研究開発拠点を目指すなど、市がより明確なビジョンを示すべき。

答

まずは県の嶺南エネルギー・コースト計画の中の位置づけが非常に重要になる。あわせてハーモニアスポリス構想、さらに今後策定する敦賀市総合計画の中で位置づけ等を明らかにしていくことを含めて検討していく。

「人道の港敦賀ムゼウム」整備計画について

問

指定管理者制度を選択する上で大変重要な運営管理体制の考えは。

答

全ての業務を指定管理者に任せるとは、公的な信用性が重要である要人対応や人道の港敦賀の調査研究などについては、市が中心となって指定管理者と情報を共有しながら運営を行う体制を想定している。

一般質問



中道恭子 (公明党)

引きこもり支援対策について

問

引きこもりの現状と今後の取り組みについて伺う。

答

市における実際の引きこもり人数は把握していないが、578人と推計している。引きこもりにはさまざまな要因や解決すべき課題があり、一つの部署ですべて対応することは不可能であり、各関係部署での対応になると考える。どこに相談すればいいかわからない方の窓口を設け、適切な部署につなぐ仕組みづくりを現在研究している。

「おくやみ窓口」の設置について

問

家族の方が亡くなられた際の、さまざまな行政手続きを一つの窓口で行う「おくやみ窓口」を新庁舎に設置できないか。

答

当市の課題である滞在時間の短縮、手続きの簡略化をどういった形でできるか、よりストレスを軽減した住民サービスの向上に向けて現在協議を行っている。

一般質問



松宮 学

(日本共産党
敦賀市会議員団)

高齢者運転免許証自主返納者への優遇制度について

問 敦賀市には自主返納者に対しどのような優遇制度があるのか。また、何年前からあるのか。

答 自主返納していただいた65歳以上の高齢者に対して2年間有効のバス及びタクシー利用券2万円分を交付している。平成26年度から始め、6年目を迎えている。

自動車の急発進抑制装置取り付け費用の支援制度について

問 自動車の急発進を抑制する装置を取り付ける支援制度が敦賀市にあるのか。

答 急発進を抑制する装置の取り付け費用への補助制度は、今年度から県が実施している。市役所において申請は受け付けていないが、申請に必要な限定運転申請書つきチラシを窓口におき、県が行っている事業に関する問い合わせに依っている。

一般質問



縄手博和

(市政会)

小中学校のトイレ洋式化について

問 現在の全小中学校の洋式化がどのほど進んでいるのか。今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 全ての小中学校19校の680箇所中約53%の357箇所のトイレが洋式となっている。残りは洋式化率が低く、建築年数の古い順に進めていく。

民生委員児童委員の活動について

問 民生委員児童委員のなり手確保や資質の向上に向けてどのような取り組みを行っているか。また、委員が負担している年会費の内訳や使用の目的についてお聞きする。

答 各区長に推薦いただいたり、経験者の力をお借りして適任者を探し、確保に努めている。また、委員にはさまざまな研修に参加いただいている。委員の会費は研修への参加や協議会の運営、互助会等に充てている。

議会の傍聴にぜひお越しください

傍聴の流れ

受付簿に氏名、住所、年齢をご記入の上、交付される傍聴券を持って傍聴席または委員会室傍聴席にお入りください。

議長の許可があれば、児童及び乳幼児の傍聴や、傍聴席において写真等の撮影ができます。事前に議会事務局にお申し出ください。

傍聴を終え、退場される際には、傍聴券を返還してください。

本会議の傍聴

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

受付：市庁舎5階傍聴者ロビー

定員：48人(先着順)

委員会の傍聴

各常任委員会・特別委員会原則として公開しています。

受付：市庁舎5階議会事務局窓口

定員：10人(先着順)

※ただし、委員会が定員以上の傍聴人を入室させることが適当であると認める場合は入室できません。



審議結果一覧

令和元年第5回定例会では、令和元年度各会計補正予算案3件、条例案11件、一般・人事議案6件、報告議案5件、議会提出議案2件、請願1件、陳情1件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	修正可決
令和元年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件	総務民生	可決
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	総務民生	可決
人道の港敦賀ムゼウムの設置及び管理に関する条例制定の件	産経建設	可決
敦賀市印鑑条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市国民健康保険診療所設置条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市休日急患センター設置及び管理に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市水道事業及び下水道事業の職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市水道事業給水条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決

3 一般・人事

件名	付託委員会	結果
平成30年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	認定
平成30年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	認定
平成30年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	可決
平成30年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	認定
平成30年度敦賀市下水道事業決算認定の件	予算決算	認定
総合運動公園陸上競技場改修工事その2請負契約の件	文教厚生	可決

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第3号））	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ
健全化判断比率の報告の件	報告のみ
資金不足比率の報告の件	報告のみ
公立大学法人敦賀市立看護大学の平成30年度業務実績に関する評価結果の報告の件	報告のみ

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査に関する決議の件	—	可決
「地方財政の充実・強化を求める意見書」提出の件	—	可決

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める請願	産経建設	不採択
地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情	総務民生	採択

議会日誌

令和元年7月8日以降の主な議会活動の紹介です。

7月	10日(水)	広報広聴委員会
	19日(金)	産経建設常任委員会
	25日(木)	広報広聴委員会
	29日(月)	議員説明会
	31日(水)	産経建設常任委員会
8月	2日(金)	議会運営委員会
	7日(水)	嶺南市町議長会定例会
	20日(火)	産経建設常任委員会
	21日(水)	議会運営委員会行政視察(～23日)
	30日(金)	議会運営委員会
9月	5日(木)	全員協議会
	6日(金)	議会運営委員会、全員協議会、本会議(9月定例会開会)、文教厚生常任委員会
	9日(月)	予算決算常任委員会全体会・分科会
	17日(火)	議会運営委員会、本会議(一般質問)
	18日(水)	各派代表者会議、本会議(一般質問)
	19日(木)	議会運営委員会、本会議(一般質問)
	20日(金)	総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
10月	3日(木)	予算決算常任委員会全体会、議会運営委員会、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会
	7日(月)	広報広聴委員会
	8日(火)	議会運営委員会、全員協議会、本会議(9月定例会閉会)、予算決算常任委員会
	16日(水)	産経建設常任委員会行政視察(～18日)
	21日(月)	各派代表者会議
	23日(水)	総務民生・文教厚生常任委員会行政視察(～25日)
	30日(水)	敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、福井県市町議会議員合同研修会
11月	5日(火)	各務原市・敦賀市議会親善交流会(～6日)
	7日(木)	議員説明会
	8日(金)	議会運営委員会
	14日(木)	敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、議会報告会
	15日(金)	全員協議会、本会議(臨時会)、文教厚生常任委員会
	26日(火)	議会運営委員会、広報広聴委員会

敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成22年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157
Eメール: gkakat@ton21.ne.jp

住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号

発行: 敦賀市議会

委員: 山本 貴美子
委員: 豊田 耕一
委員: 三國 真弓
委員: 林本 惠志子
委員: 山本 武志
副委員長: 今道 晴美
委員長: 浅野 好子
広報広聴委員長: 浅野 好子

編集委員



12月定例会の日程(予定)

11 November ~ 12 December 2019

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
11/24	25	26 本会議	27 予算決算 常任委員会	28	29	30
12/1	2	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7
8	9 常任委員会	10 特別委員会	11 特別委員会	12 予算決算 常任委員会	13	14
15	16	17 本会議 (報告・採決)	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28